

ドライシッパー運搬上の注意

- 決められた日程で速やかに移送してください。(当院返却期限 / /)
- 凍結保存容器内及び開口部付近に顔を近づけないでください。酸素濃度が極端に低く、酸素欠乏のため意識不明となり窒息死する恐れがあります。
- 車での移送時には、固定するとともに必ず窓を開けてください。酸素欠乏のため意識不明となり窒息死する恐れがあります。
- 凍結保存容器内は液体窒素の気層で充填し検体を保存しています。輸送中は容器の開閉を行うと温度の変化や紫外線の影響等で、貴重な検体に損害を及ぼします。また、容器を蓋で密閉状態にすると中の液体窒素が暴発する恐れがあります。容器の蓋は開閉しないでください。
- 凍結保存容器内には液体窒素が気層で充填しています。容器の蓋には触れないでください。
- 凍結保存容器に破損等があった場合、その補修費用等は患者様にご負担いただくことがあります。